



トピックス…②

後継者選びは

「血縁」「熱意・意欲」「能力」を重視

日本政策金融公庫は本年1月、スーパーL資金および農業改良資金の融資先(21,376件)を対象とする「平成24年農業景況調査」を実施し、農業後継者の確保状況や後継者選びの特徴等を明らかにした。以下では、同調査結果から酪農経営(742件)について概要を紹介する。

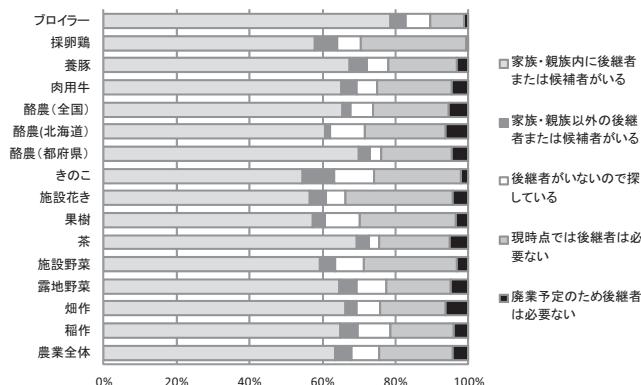
6割強が家族・親族内から後継者を確保(図1)

酪農経営(全国742件)における後継者の確保状況は、「家族・親族内に後継者または候補者がいる」とする回答が65.6%で最も多く、「家族・親族以外の後継者または候補者がいる」(2.2%)をあわせると、平成25年1月時点において「後継者または候補者がいる」酪農経営の占める割合は67.8%であった。

また、酪農経営における後継者の確保状況を地域別にみると、北海道(356件)では「家族・親族内に後継者または候補者がいる」が60.7%、「家族・親族以外の後継者または候補者がいる」が1.4%で、都府県(386件)ではそれぞれ70.0%と2.9%で、「後継者または候補者がいる」割合には両地域間に10ポイント以上の差がみられる。さらに、「後継者がいないので探している」とする回答の割合にも、北海道(9.5%)と都府県(3.2%)の間に6.3ポイントと比較的大きな差がある。

酪農経営の「後継者または候補者がいる」割合は、農業全体(67.9%)とほぼ同水準であるが、プロイラー経営(82.7%)、養豚経営(72.3%)、肉用牛経営(69.5%)など、他の畜産経営と比較すると低水準であった。これは、酪農経営では「(経営者が若いので)現時点では必要ない」(20.7%)や「将来的に廃業予定のため必要ない」(5.3%)とする回答が、他の畜産経営に比べて多いことが一要因と考えられる。

図1 農業における後継者の確保状況



資料：日本政策金融公庫「平成24年農業景況調査」(平成25年1月)

後継者選びは「血縁」「熱意・意欲」「能力」を重視(表1)

同調査では、「後継者・候補者がいる」および「後継者を探している」と回答した酪農経営(全国549件、北海道255件、都府県294件)を対象として、後継者選びにおいて何を重視した(する)かについても明らかにしている。全国で最も回答が多かったのは、「家族・親族かどうか」(57.8%)で、「酪農への熱意・意欲」(55.9%)、「経営管理能力」(40.3%)が続いている。

これを地域別にみると、「家族・親族かどうか」を重視するという回答が都府県(67.2%)で多く、北海道(47.1%)で比較的少ないことが特徴的である。他方、北海道では「酪農への熱意・意欲」(62.0%)と「経営管理能力」(51.6%)を重視する酪農経営が多い。

農業全体でも、酪農経営と同様に「家族・親族かどうか」(59.4%)、「酪農への熱意・意欲」(57.1%)、「経営管理能力」(34.5%)を後継者選びで重視する割合が多くなっているが、プロイラー経営で「家族・親族かどうか」(68.2%)、露地野菜経営で「農業への熱意・意欲」(61.4%)、採卵鶏経営で「経営管理能力」(70.4%)を重視している経営がとくに多いことが特徴的である。

表1 後継者選びで重視したまたは重視する事項(2つまで) 単位：%

	家族・親族かどうか	地元の人かどうか	生産技術力	経営管理能力	人望など人柄	酪農への熱意・意欲
農業全体	59.4	3.1	12.1	34.5	13.5	57.1
稲作	61.4	6.3	12.3	29.4	12.5	57.3
畑作	61.2	1.9	16.3	32.2	8.0	58.4
露地野菜	56.7	1.3	13.1	33.2	15.9	61.4
施設野菜	58.7	1.7	13.7	31.1	12.8	58.7
茶	57.4	1.4	14.2	38.5	13.5	59.5
果樹	64.1	2.1	10.5	30.0	12.2	59.5
施設花き	63.2	1.2	8.2	33.3	14.0	57.3
きのこ	42.6	2.9	14.7	48.5	16.2	57.4
酪農(全国)	57.8	0.2	10.8	40.3	15.6	55.9
酪農(北海道)	47.1	0.5	8.6	51.6	16.7	62.0
酪農(都府県)	67.2	0.0	12.6	30.4	14.6	50.6
肉用牛	63.7	0.7	11.0	38.3	12.7	56.7
養豚	48.5	1.0	10.8	46.6	21.6	49.5
採卵鶏	46.9	0.0	6.1	70.4	21.4	42.9
プロイラー	68.2	1.5	7.6	43.9	13.6	47.0

資料：前掲書